

沖縄県の森や奈良県
の里山で素掘りの側溝
を掘る手法で水や空気
の“通り道”を設ける
環境改善事業を手がけ
てきた矢野さんは、自
然の再生を考える上で
「大地」「生物」「気象」



通気や通水の視点から里山や自然の再生について語る矢野さん(右端)

里山や自然環境の改善や再生について、地面の通水や通気といった視点から考える講座「大地の再生講座」信州松本 結の杜づくりが17日、松本市の岡田地区などで開かれた。県内外の農林業や造園などの関係者約50人が参加し、山梨県上野原市の団体「杜の園芸」代表の矢野智徳さん(60)の講演に耳を傾けた。

「宇宙」の四つの環境分類と「土壤」や「水」「空気」といった八つの環境要素で見る方法を紹介した。

自然環境の改善を考える

松本で大地の再生講座

る水脈を寸断して、詰まりを生じさせ、森

の衰退や土砂災害を引き起こす原因の一につきなつたと指摘し「信州だけでなく日本全体で大地に“詰まり”が広がっている」と警鐘を

め「山の新たな見方と
して信州の山から日本
が良くなる参考になれ
ば」と話していた。

鳴らした。松枯れの被害が広がる岡田地区の里山も見て回り、改善策について参加者と意見を交わした。

開庁時間の午前8時
半～午後5時15分に見
ることができる。問い合わせは同推進室(☎)
026・2335・73
7(8)へ。

げられた松本蟻ヶ崎高
校書道部の作品も曰を
引く。

植樹祭で使用
くわや升展示

県庁であります

6月の全国植樹祭記念式典で天皇、皇后両陛下が「お手植え」で使われたくわや盆などが19日まで、長野市の県庁1会場のMウエーブに掲示口 billionaireに展示されている。木曽青峰高校の生徒が作ったくわや、上松町小川の桶数が制作した升などで、式典

県庁ロビーに展示された木製のくわや升など

78) ^。
(赤羽啓司)

日本の職人展」が17日まで展示販売会 第13回して
上で始まつた。北海道から九州まで、木工芸や染織物、革製のオーダー靴などを手掛けける31の工房が出展し、手仕事の技と魅力を紹介

創作服や和小物、刃物、化粧筆、真珠、琥珀こはく、細工など実用品から装饰品まで幅広い逸品が並ぶ。職人11人が会場で実演披露もしていいて、井上は「作り手の思いやこだわりを身近

手仕事の技と魅力紹介

井上で日本の職人展

展示販売会 第13回 している。23日まで。



に感じ
ている

みすず野